事業所名　ケアワーカーズそら

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日　2024 年　10 月　1 日

法人（事業所）理念		『ご利用されるすべての皆様に、笑顔と可能性を』 サービスをご利用される皆様と、共に歩む支援を心がけています。１人ひとりの可能性を追求し、その人らしさを発揮できるような支援を目指しています。		
支援方針		障がいのあるお子さまに安心して過ごせる場の提供を行い、さまざまな活動や人とのかかわりを通し、今の困りごとの解決と、将来の自立、社会参加を目指した支援（療育）を提供しています。「できなくて当たり前。できたら素晴らしい！」「まずはやってみよう！ナイスチャレンジ！」を合言葉に、「できた！」を増やし、「自信」につなげていきます。		
営業時間		9　時　00　分から　18　時　00　分まで	送迎実施の有無	(あり)　なし
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	健康な心と体を育て、健康で安全な生活が出来るように支援します。小さなサインから心身の異変に気づけるよう、細やかな観察を行います。 健康の増進⇒睡眠、食事、排泄など基本的な生活のリズムを身に付けられるよう支援します。病気の予防や安全にも配慮していきます。 基本的生活スキルの獲得⇒清潔な身の回りや食事、衣類の着脱、排泄などの基本的な生活技能を獲得できるよう支援します。		
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上下肢の運動・動作の改善及び習得、筋力の維持・強化を図るとともに視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう支援します。 感覚や認知の特性を考慮し、環境調整などの支援を行い、感覚の偏りに対応します。 遊びや運動を通して音を聞くこと、音にあわせて身体を動かすことによるリズム感や表現力・協調性を育めるよう支援します。		
	認知・行動	自分の考えを持ち、相手の考えを受け入れる姿勢を身に着けるための支援を行います。量・空間・時間・数等の概念形成の習得を目的として、対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得、視覚・聴覚・触覚などの感覚を使い、認知機能を発達させます。 さまざまなオリジナル教材を使用し、数や形、大きさや重さなどに触れて興味関心を持てるように一緒に考え学びます。自己肯定感を向上できる支援に繋げます。		
	言語 コミュニケーション	幅広い感覚を身に着け、基礎学力の定着を目的とし、学校での課題やオリジナル教材などを用いた学習支援を行います。また、言語の形成と言葉の活用方法や受容及び相手の心情を考えての表出向上、およびコミュニケーションの基礎的能力向上を目的として、コミュニケーション手段の選択と活用、言葉や様々なコミュニケーションツールを利用して学び、相手の話を理解して自分の気持ちを言葉に出来るよう経験を重ねます。		
	人間関係 社会性	他者との関わり方および自己の理解と行動の調整ができる支援を行います。仲間づくりと集団への参加ができ、集団活動や余暇活動支援の中で、他者との信頼関係の築き方、関わり方等を学びます。他者と関わる中で役割分担などで責任感を持ちながらルールの大切さを学び、協調性や思いやりを育めるよう支援します。また、イベント活動を通して、地域の方や児童との交流で適切な人間関係が持てるための活動支援を行っていきます。		
家族支援		支援後のフィードバック（サービス提供記録）や保護者面談等を通じてお子さまの発達状況や支援のニーズの確認を行います。 様々な不安や困りに寄り添い、相談や助言を行います。	移行支援	進級・進学、就職などのライフステージ移行を見据えた進路相談や情報共有を行います。 相談支援事業所や学校等との連携をはかり、支援体制を構築します。
地域支援・地域連携		関係機関（特別支援学校や相談支援事業所、併用利用事業所等）との情報共有、連携を行います。	職員の質の向上	全職員を対象とした、定期的な職員研修会を実施します。 外部講習や勉強会に参加支援します。 定期的にカンファレンスや活動検討会議等を実施します。
主な行事等		季節ごとの行事（節分、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、バレンタイン等）を実施しています。 外出イベント（いちご狩り、工場見学、デイキャンプ、お買い物学習）を行っています。 制作活動や調理実習を行っています。		